



さとうのりよし
佐藤徳宣

質

市有地の防災対策について

～現地調査や現状の把握、対応を行う～

盛土や切土の土地が多く点在しており、現地踏査や位置、その概要をとりまとめ、市民が安心して暮らせる生活環境の確保を図ります。市有地の現状の把握については、各行政区の自治委員を通じて市有地の防災箇所、または公共物の道路補修などの要望書を提出していただき、担当課でその都度現地調査を行い、現状の把握や対応を行っています。

答
総務部長



JR線への崩落危険市有地

質

市道の崩壊や崩落対策について現況を把握しているか。



市道牛首線の矢田橋



固定資産税課税明細書

ます。

※その他の質問
・緊急渴水対策について

答
建設部長

市道は1487路線あり十分な把握ができていません。各地区で道路愛護作業をしたとき、また、地域担当職員制度導入により自治委員から改良・補修工事など必要な箇所の要望書を提出していただき、いた案件については、整理を行っています。橋梁については、市が管理する橋梁点検結果を市のホームページに掲載しています。

市税について

～公平で公正な課税を～

質

届出の過怠に伴う税の納付について。

固定資産税は登記名義人に課税を行うため、所有者の変更は登記の変更を行うよう指導しています。納税者には課税証明書を確認の上、届出を提出いただくようお願いしています。届出の啓発については、随時市報などを有効に活用しながら制度の周知に努めてまいります。

答
総務部長

「行政評価システム」 目的は何か、策はないのか

～9月議会には提示～



ふか た せい ぞう
深 田 征 三

質

改善策はないのか。

市は行財政改革を積極的に推進する中で、毎年度、事務事業などを評価し、恒常に改善や見直しを行い、より効率的で質の高い行政の実現に努めるため、市政運営の基本システムとして、平成20年度から「行政評価システム」を導入した。

3年を経過するも、まだ議員にも理解できない。



業評価結果を決算書と一緒に提示できればと考えております。9月議会には事務事

答 市長

平成22年度決算を見ながらその結果を同時に評価し、平成24年度当初予算編成に活かしていく手法が、「評価と予算の連動」を可能にするものと考えます。

清川中学校移転改築事業については、「豊後大野市学校施設耐震化計画」が議会に報告され、市報で公表されたのみで、移転改築の説明も報告もないまま進んでいます。

本年度の同中学校への進学状況からしたとき、中学校教育のあり方、生徒の学習環境とは何かの真剣な議論もないまま、行財政改革の最中、近い将来大きな禍根を残すことはないのか。

質

答 教育長

平成30年の生徒数の予測では、三重中学校は、ほぼ現状のまま推移しますが、そのほかの6校が極小規模校となります。全てが一年一クラスとなり、あらゆる分野で現在よりさらに少人数による学級運営を行うことになります。

しかし、教育に対する平等性を維持することから、町ごとに中学校があることが現時点においては必要と考えています。

清川中学校建設は生徒のためか

～教育に対する平等性の維持～



清川中学校完成予想図